

あたたかなつながりを実感できる 暮らしを目指して

松阪市社会福祉協議会は、これまで地域固有の生活課題の解決や身近な地域における支え合いを実現するため、おおむね小学校区である 43 地区ごとの「松阪市小地域福祉活動計画」を策定してきました。地域の皆さまには、特色ある福祉活動を展開していただき、感謝申し上げます。



近年、地域福祉に関する動向が大きく変化する中、松阪市においても少子高齢化や一人暮らし世帯の増加を背景に、集落運営の担い手不足、買い物や通院困難等、あらゆる世代の暮らしに関する困りごとが多様化、複雑化しています。

平成 21 年 3 月に策定された小地域福祉活動計画から 9 年が経過し、市内では住民協議会の設立や、各地区に「地域計画」が策定されるなど、地域における活動が様々に変化してきました。

このたび策定された第 3 期松阪市地域福祉(活動)計画では、これまでの小地域福祉活動計画を見直し、近年の地域福祉に関する施策や動向、生活課題を踏まえ、住民の主体的な地域づくりがより充実して展開できるよう「人づくり」「場づくり」「ネットワークづくり」の 3 つの重点項目に取り組むことを活動計画の柱としています。

助けてと言えるご近所づきあい、誰もが役割と出番のある身近な居場所、困ったときはお互いさまと話しあえる仲間づくり等、誰もが安心して暮らせるまちづくりを実現していくには、これまで以上に多くの人々の参加と協働が欠かせません。本活動計画を策定するにあたり、地域福祉計画との一体型として松阪市と協働で策定されたことは、相互連携を図るうえで大きな意味があります。

今後、本計画に基づき、住民・専門職・行政がともに手を携え、力を合わせていく過程で、私たち社会福祉協議会としての専門性を発揮することが求められています。「地域の絆と支援の輪で暮らしを支える安心のまち」に向け、地域福祉をより推進してまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

社会福祉法人松阪市社会福祉協議会 会長 田上勝典